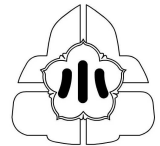


# 学 校 だ よ り

下野市立石橋北小学校 Tel 52-1134  
発行責任者 岡本 直美

- 心豊かな子
- 進んで学ぶ子
- 健康でたくましい子



## 第1回学校運営協議会を開催しました

5月7日（木）、校長室において第1回学校運営協議会を開催しました。

最初に、本年度の委員の皆様の下野市教育委員会からの任命書をお渡ししました。その後、会長、副会長を選出し、組織作りをしました。本校の学校運営協議会は、石北小スクールボランティアとして、「環境整備支援部」、「学習支援部」、「図書活動支援部」、「防犯支援部」の4部に分かれており、各委員の皆様を担当部を決定していただきました。

次に、石橋北小学校学校運営協議会運営規定と下野市の運営マニュアルを確認しました。学校運営協議会は、学校との双方向の信頼関係を深め、地域・家庭及び学校が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを目指す仕組みです。

そして、学校運営方針について説明し、委員の皆様から、貴重なご意見をいただき、方針の承認をしていただきました。学校経営計画は次のページをご覧ください。また、議事録については、学校のHPに掲載いたします。

委員の皆様方と共有し、家庭・学校・地域が一体となり、チームとなって取り組んで参ります。

## 学校運営協議会の委員を紹介します

【敬称は、省略します】

会長	江原 浩之
副会長	大塩 宗里
委員	持田 光世
委員	石嶋 和夫
委員	野口 文夫
委員	寺内 利之
委員	渡辺 佳通
委員	勝俣 真樹子
校長	岡本 直美
地域連携教員	高田 めぐみ
統括地域学校協働活動推進員	坪山 仁 海老原 忠
事務局 教頭	澤田 貴典
教務主任	平塚 優子



令和9年度「地域学校協働本部」が石橋地区に設置されます。統括地域学校協働活動推進員2名の方が中心となって、今年度は準備を進めてまいります。



児童一人一人が、「認め合い・励まし合い・助け合う学級」の一員として学校生活を送ることができるよう力を尽くしたいと思います。「信頼される学校づくり」を推進して、教職員一同、心を合わせて教育活動に取り組んでまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、11月～12月頃学校の取組について「アンケート調査（学校評価）」をお願いいたします。ご心配やお気付きの点がありましたら、担任をはじめ、職員だれにでも、いつでも、ご遠慮なくお声かけください。

令和8年度 石橋北小学校 学校経営グランドデザイン

国・県の動向	市の動向	児童・家庭・地域の実態
日本国憲法・教育基本法・学校教育法 学習指導要領 とちぎ教育ビジョン 2026～2030 下都賀地区学校教育の重点	下野市学校教育計画 当たり前前を当たり前に行う教育の 実践（ファミリー下野教育運動の推進）	素直で明るく真面目である。自主的に考えて 実践する力に乏しい。家庭・地域共に学校教育 に理解があり、協力的である。

地域とつながり社会に貢献できる子（石橋中学校区めざす子ども像）

教育目標

心豊かな子

進んで学ぶ子

健康でたくましい子

目指す児童像

豊かな心を持ち 助け合う子ども

自ら考え 進んで学ぶ子ども

明るく健康で たくましい子ども

本年度の基本方針

認め合い・励まし合い・助け合う学級を基盤とした学校づくり

目指す教師像

子どもの主体的な学びのために何ができるか支援・伴奏する教師

重点目標

基本的な生活習慣や規範意識を育 てると共に、自己有用感や社会性を 醸成し、豊かな心を育てる。	学ぶ意欲を高め、知識・技能を習得し、 未知の状況にも対応できる思考力、判 断力、表現力等を育成し、学ぶ力を育 む。	体力の向上と健康安全の保持増 進を図り、健やかな体をつくる。
--	--	-----------------------------------

学校経営の方針

- 1 認め合い・励まし合い・助け合う学級を基盤とした学校づくりに努める。
- 2 教職員としての自覚と使命感をもって、それぞれの特性を生かし、協働体制で教育目標の具現化を目指す。
- 3 深い児童理解に基づき、児童の望ましい生活習慣や規範意識、人間性を高める。
- 4 ICTを効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指し、計画的に校内研修を行い、授業力の向上を図る。
- 5 地域とともにある学校づくりを推進する。
- 6 勤務環境の改善に努める。

学校課題 「主体的に学び、高め合う児童の育成～学び合うことで自分の考えをよりよくし、豊かな表現力を身に付けた児童の育成をめざして～」

	「心の教育」の充実	「確かな学力」の定着	「ねばり強く取り組む力」の育成
具 体 策	①基本的な生活習慣や規範意識を育てる。 ・児童主体による活動 ・3A運動の実践 ・家庭や地域と連携、実践 ②自己有用感と社会性を育成する。 ・「認め合い・励まし合い・助け合う」学級集団の形成（人間関係づくり） ・児童主体の縦割り班活動（計画、実践、振り返り） ・児童の活躍の場の拡充 ③体験を通して、児童の主体性や豊かな心を育成する。 ・ふれあい学習の推進 ・考え、議論する道徳授業の実践	①学びに向かう力や意欲の向上を図る。 ・授業改善の継続 ・「学び合い」のよさを実感できる学習活動の工夫 ②生きて働く知識・技能の習得を図る。 ・ねらいとまとめ、振り返りの実践と一体化 ・個に応じたきめ細かな指導による学力の保障 ③未知の状況にも対応できる思考力・判断力、表現力を育成する。 ・言語活動や体験活動の充実 ・自分の考えを書く活動の習慣化	①体力を向上する。 ・楽しく活動量のある体育授業や業間活動の展開 ・縦割り班活動、業間活動、外遊び等を活用した体力づくり ・学習カードの活用や体育授業の工夫改善 ②健康安全の保持増進を図る。 ・基本的な生活習慣の確立 ・早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロールの推進 ・家庭との連携 ・食育の推進（栄養教諭による食育授業の実施） ・感染症対策、避難訓練・安全教室の実施（「自分の身は自分で守る」意識を涵養する。）
	「信頼される学校づくり」の推進		
	①同僚性を生かした教員の指導力の向上。 ・指導力向上を目指した計画的な研修会の実施 ・ICT機器の活用 ・認め合い助け合う教職員集団 ②一人一人の児童を大切に教育的支援を行う。 ・問題の未然防止 ・報道相・確認・記録の徹底 ・保護者とのより良い信頼関係づくり ③家庭・地域、関係機関との連携を図る。 ・学校支援ボランティアの活用 ・学校運営協議会の推進 ・家庭教育学級の充実 ④業務改善を推進する。 ・ウェルビーイングな働き方 ・勤務時間の効率化と適正化		